

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月20日

団体名 岡崎歴史探求班

代表者 坂本 純二

構成員 20 人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は、岡崎、三河の遺跡、及び遺物など文化財の取柄、収録などを通して、岡崎、三河市内の文化の振興に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2025年 11月7日	西大友寺玉泉寺 及びその周辺	参加者及び地元 住人	20	地元の歴史、史跡、巡り案内、ガイド。 地元の歴史、由来の伝承。
毎月第3金曜日 毎月土曜日曜	エフエムEGRO	ラジオ視聴者。 出演ゲスト。	岡崎、豊田 蒲郡の視聴者	地元の歴史や史跡の解説、説明、紹介。 ゲストに聞き話をきいて新たな活動を知り 情報反を届ける。
2025年 9月27日	幸田町西方寺	参加者	30人	西方寺と不公平氏の関係について解説。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

岡崎市や地元の歴史、史跡、人物について理解と知識を深めた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

地元のイベントに参加することで、地元を志す意識と認識を深めた。
 公共の施設やイベントを利用することで、多くの人々との共有性が高まった。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。